



# 瀬戸内海のエコツアーリズム

## 景観の中に潜む多様な生物たちを ～生態系景観によるエコツアーリズム 感じよう! の活動～

広島工業大学 工学部 都市デザイン工学科・環境学部 地域環境学科  
教授 上嶋 英機

### 1 生態系景観の継承のために

3月11日「東日本大震災」が襲ってきました。この大震災は日本だけでなく地球規模で我々人間社会に大きなダメージを与え、歴史に強く刻まれる大きな事象となりました。今回の大震災によって、我々が自然に対して本当にしっかりと向き合ってきたのかを根本的に考え直す機会を神から与えられたと感じます。人間の利便性を求めるあまり機械的な社会ばかりを追求して、自然や生態系を軽視してきたことを真摯に受け取り、自然への尊厳と恩恵への感謝の心を忘れないように自然環境を大切にしたいと新しい日本の国土造りを若者達に考えて頂きたいと思えます。

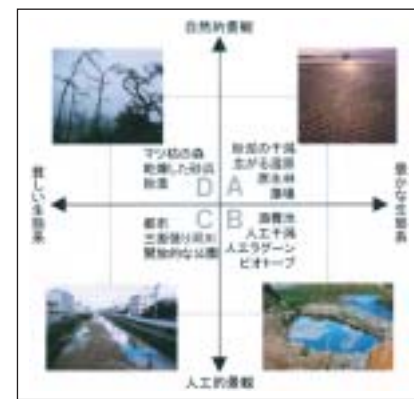
大震災前の2010年10月に、生物多様性条約締約国会議COP10が名古屋で開催され、生物多様性の保全目標などを定めた「愛知ターゲット」が合意されました。私たちは気づかぬうちに多くの生態系と生物多様性を破壊してきました。そこで、自然景観の中に生態系や生物多様性がどのように存在しているかを知るための「観る目」を育て、自然景観の中に存在する生態系を把握するための「生態系景観の評価手法」を開発することを目指しています。この方法を活用したエコツアーリズムによるエコツアーを構築し、多くの人に参加して戴く研究活動を学生諸君と行っています。

### 2 生態系景観の評価

～自然景観から生態系を観る～

私たちが観ている自然景観は、地形・地質などの地理的要素が基盤となっ

ている。この地形や地質等の基盤に雨、風、光や乾燥などの物理的な作用が加わり、その環境に適応した「生態系を保有する生息場(エコトープ)」を造りだしている。山、川、沼、海などの景観におけるエコトープの構成パターンによって、生息する生物の種類や個体数は大きく異なり、これらの特性から景観の中の生態系を評価することが、「観る目」となります。即ち、景観の中に存在する生態系の豊かさを軸に観る見方を「生態系景観」とする。豊かな自然景観と多様な生態系を保有する領域として、沿岸域の干潟や藻場、原生的な森林や河川、湖沼、山里などがあり、対称的にエコトープは存在せず、貧しい生態系景観と評価される場合は、近代都市や三面張りの河川、コンクリート化した海岸などの人工的景観である。



生態系と景観の価値評価

### 3 エコツアーリズムの考え方

生態系景観の「観る目」を実体的な場において活用するために、エコツアーリズムの概念を用いてエコツアーを構成し、生態系景観を体験的に実感して行くことが最適である。我が国では

2007年に「エコツアーリズム推進法」が制定された。エコツアーリズムとは「地域ぐるみで自然環境や歴史文化など地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、結果的に環境保全に繋げていく仕組み」である。そこで、エコツアーリズムの実践であるエコツアーを瀬戸内海の環境資源を活用し構築を図った。

### 4 瀬戸内海のエコツアーリズム

瀬戸内海は我が国最大の豊かな自然環境資源と海洋文化・歴史を有する内海部である。特に、瀬戸内海国立公園の島々が多様に存在し、豊かな生態系景観を有している。この豊かな資源を活用した「エコツアーリズム」として各種のエコツアーを構築し試行した。主なエコツアーは、宮島を対象とした沿岸域を巡る「宮島・海からのエコツアー」、陸域の山岳部と沿岸域を徒歩で巡る「宮島・陸域エコツアー」。更に、呉市管轄の「安芸灘四島」の島々を船で巡る「安芸灘四島・海からのエコツアー」を試行した。一方、瀬戸内海の代表的な海洋哺乳類の「スナメリ」を船上からウオッチする「スナメリ・エコツアー」も実施した。

### 5 宮島のエコツアーの構築

瀬戸内海国立公園を代表する宮島は世界文化遺産にも登録され国際的にも有名であり国内外から多くの観光客が訪れる。しかし、その観光資源は文化・歴史的な観光資源が主体となっており、宮島の豊かな生態系や自然環境資源を体感するエコツアーはされていない。そこで、宮島の自然豊かな沿

岸域を船で巡るコースとして「宮島・海からのエコツアー」を、宮島の陸域コースとして、弥山や岩船山を巡る「宮島・陸域コース」を構築し試行した。



宮島・海のエコツアーコース

### 6 スナメリ・エコツアーの構築

瀬戸内海の海洋生態系の中で頂点に立つ海洋哺乳類のスナメリの生息数が1980年から開発による人為的な要因で激減した。スナメリは鯨科イルカ目で、瀬戸内海の生態系全体のバロメ



スナメリウォッチング

ータとして重要である。そこで、スナメリの存在を広域的に把握するため、比較的にスナメリの目撃情報が多いとされる、フェリー8航路(粟島汽船・瀬戸内海汽船・中島汽船・防予汽船・柱島海運・牛島海運・周防灘フェリー・宇和島運輸)での目視調査を継続的に行っている。



スナメリ(調査)ネットワークの位置(フェリー航路)

そこで、スナメリを主体とした「スナメリ・エコツアー」として、愛媛県中島汽船の協力の下に、目撃情報の多い11月に行った。スナメリ・エコツアーでは、定員一杯の約50名もの参加者を集め、

子供連れの方も多く参加した。フェリーのデッキからのスナメリ・ウォッチングを行い、5頭ものスナメリを観察でき、参加者は大変感動した。

### 7 これからの課題と方向

上嶋研究室では瀬戸内海を訪れる観光客に、瀬戸内海の自然の豊かさや海文化の素晴らしさを実感して戴くため、環境省のエコツアーリズム施策や広島県の「瀬戸内海の道構想」と協働で活動を推進し、景観の中に生態系を「観る目」を体感するエコツアーを試行してきた。今後は海外の観光客を対象にして本格的なエコツアーを試行し環境観光ビジネスに繋げていきたい。更に地域振興に貢献するエコツアーの運用や、ツアーガイドとしてのインターポーターの育成に向けて学生諸君と頑張っていきたい。